

世田谷 偕行会解散の報告

世田谷 偕行会

会長 矢可部一敏 士60

世田谷偕行会の発足については先輩の言によると、昭和30年頃世田谷在住の陸軍将校が集まり、世田谷郷友会を結成したのが始まりとの事。その後色々変遷を経て加藤義秀様士33が会長に就かれた。

この世田谷郷友会が堀江正夫様士50、板垣正様士58の参議院選挙、土田正人様士53の区議選挙支援のため、区在住 偕行会員名簿を作成、これを機に昭和55年世田谷 偕行会が設立された。その後事情により世田谷郷友会は解散、替わって世田谷新郷友会が結成され、以後世田谷偕行会の催しは世田谷新郷友会との共催になった。

往年は賀詞交歓会、総会が定例行事であったが、経年と共に会員の高齢化が進み、会の維持発展に必須の元幹部自衛官の入会も捗らず、平成26年の総会を最期に従来の活動を休止し現在に至る。

本年4月には天皇陛下御退位に伴い、「平成」ともお別れとなる。当会もこれを転機に役員相諮り、残念ながら3月31日を以て解散を決意した。

長年にわたり世田谷 偕行会に対するご指導、ご厚意に厚く御礼申し上げます。